

日田高校定時制 学校だより ♪希望・理想・使命♪

3学期始業式 「課題解決と明確な目標を！」



という話がありました。

◇平成29年1月10日(火)、給食室にて平成28年度3学期の始業式が行われました。

◇校長式辞では、「酉」の字は『果実が熟した状態』を言い、酉年は『とりこむ』に掛けて縁起の良い年と言われる。…この3学期は、1・2学期に把握した課題の解決を目指しておくこと、来年度の明確な目標を立てておくことこの2点が大事であるとありました。

◇残念ながら体調を崩した数名の生徒さんの顔が見られませんでした。ほとんどの生徒が元気に出席できた3学期始業日となりました。

◇先生方からの諸連絡では、

- *教務より「3学期は(入試等の)日程が詰まっている、授業は実質40日程度なので、1時間ごとの授業を大事に受けて欲しい」
- *生徒指導より「皆さんが安心・安全で楽しい学校生活を送れるよう、ルールやマナー等、協力をお願いしたい」
- *特別活動より「在校生は卒業生を温かく送り出す、卒業生は在校生とともに楽しい思い出を作る、というそれぞれの目的をしっかりとして、予餞会の準備や制作に励んで欲しい」



校長式辞

◇始業式に続いて、生徒会役員認証式が行われました。3年生の桜木優季生徒会長を始め、2学期末に選挙で選ばれた新生徒会役員に、校長から一人一人委嘱状を読み上げて手渡されました。はにかみながらもしっかりと前を向いて委嘱状を受け取る姿が、頼もしく見えました。



生徒会役員認証式

進路講演会「社会への旅立ちセミナー」



◇進路講演会が1月13日(金)1限〜3限に行われました。「社会への旅立ちセミナー」というタイトルで、キャリアカウンセラーの帆足こずえさんにお話ししていただきました。

◇企業はどんな社会人になりたいか。こういうイメージを持っている人を採用したいと思っている、ということから講演はスタートしました。とりわけ、あいさつはコミュニケーションの基本であり、実は、仕事の一つであると繰り返し教えていただきました。

◇休憩後は、自分の席で一度立ち上がりつつ姿勢を整え、実際に講師の帆足先生にあいさつをしてみました。皆よくできて、お褒めの言葉をいただきました。

◇最後は早期離職のリスクの話で、遅刻は社会人として最も信用をなくす行為であるということや、最低3年は仕事を辞めないことと決意すること等、アドバイスをいただきました。お話ししていただける範囲でリアルな事例を聞かせていただき、生徒は静かに聞き入っていました。教員にも大変勉強になる研修となりました。



予餞会に向けて只今準備中！

◇1年から3年生まで2月2日に行われる卒業生の予餞会に向けて準備は進んでいます。お世話になった先輩方の思い出に残る予餞会とするため各クラスとも一生懸命頑張っています。お楽しみに！



年金に関する講演会としては初の試みの「年金セミナー」が1月18日(水)、開催されました。公的年金制度の意義や仕組みについて学習し、相互扶助の精神を大切にする意識を持って、積極的に社会に参画しようとする意欲や態度を育てたいという思いから、今回の開催となりました。

日田年金事務所から来られた講師の方は、ライフイベントシミュレーション、35歳・65歳の自分を思い描くなど盛りだくさんの内容で分かりやすく説明していただき、生徒たちも熱心に耳を傾けていました。

「国民年金」が我々どうに関わり、社会人として生きていくうえで、将来どう役立っていくのかを学ぶことができたのではないのでしょうか。

読んでおきたい年金のはなし

▽市民性教育△

年金セミナー講演

◆◆◆ 3学期の主な行事予定 ◆◆◆

- | | |
|-----------|--|
| 1月 | 26(木)~31(火) 卒業考査(4年) |
| 2月 | 2(木) 予餞会
3(金) 映画鑑賞会
6(月) 推薦入試
16(木)~21(火) 学年末考査
28(火) 同窓会入会式・表彰式
卒業式予定 |
| 3月 | 1(水) 卒業式
6(月)~9(木) 高校入試
*生徒は自宅学習
15(水) ポウリング大会
22(水) クラスマッチ
23(木) 各種委員会・大掃除
24(金) 終業式
30(木) 離任式 |

【耕不尽】

◇新たな年が明けて3学期が始まったかと思うと、すでに一月も下旬です。一月は「往(い)ぬ」、二月は「逃(に)げる」、三月は「去(さ)る」と言われるように、あつという間に過ぎ去ります。今春卒業の生徒にとっては、学校生活の一日一日が貴重で、おもしろい日々を感じられるのではないのでしょうか。

◇県下ではインフルエンザ患者数が週を追って増え、さらに多く発生することが予想されています。うがい・手洗い・マスクの着用や湿度を保つなど予防に努めましょう。

「君子(くん)は己(おのれ)を己(おのれ)に求め、小人(こじん)は己(おのれ)を人に求む。」
(人格者は過ちがあるとまず自分を反省し、そうでない人は必ず他人のせいにするとする) 孔子『論語』より